

## (仮称)佐倉西部自然公園第9回合同会議 会議概要

1. 名称 (仮称)佐倉西部自然公園 第9回合同会議
2. 日時・場所 平成24年9月16日 10:00~12:00 佐倉市役所6階大会議室
3. 参加者 下志津ふるさと会 8名、畔田里山会 5名  
仮称佐倉西部自然公園支援し隊 3名  
東邦大学医療センター佐倉病院 2名、  
千葉県立佐倉西高等学校 2名  
公園緑地課 4名、環境保全課 2名 計25名(傍聴8名)
4. 内容

### 1) 参加者の紹介・前回会議(第8回合同会議)の報告

公園:	( *前回会議の詳細は、第8回合同会議 会議概要をご参照ください。)
-----	------------------------------------

### 2) 報告事項 - 各ゾーンの事業、取り組み(今後の予定を含む)の報告

ふる:	Aゾーン グラウンドゴルフ場を多目的広場として整備しています。4月に種をまいて以降、10回ほど草刈を行っています。10月には地区一同集まり、グラウンドゴルフ大会を開催します。
支援:	B・Dゾーン PRのために毎月1回、自然観察会を行っており、昨日で48回目、次回には参加者1,000人を突破すると思います。また、佐倉西高校さんの文化祭で写真を展示しました。来週からは京成佐倉駅近くのNPO木ようの家を、10月には東邦病院さんのスペースをお借りして写真を展示し、西部自然公園の魅力をPRしていきたいと思っています。また、サンバは千葉県で最重要保護生物カテゴリAですが、サンバ以外にも同じカテゴリAの鳥2種の声が日本野鳥の会の会員により確認されました。B・Dゾーン以外にも生息しています。
里山:	Cゾーン 先日、地区全体の40名ほどで野球場までの入口までゴミ拾い、草刈りなどを行いました。その他、地権者が自分の土地や畑に隣接する市有地を草刈機で刈って、だいぶきれいになりました。これからも定期的にきれいにしていきたいと思っています。
公園:	里山会には農家の方もいらっしゃいますので、自分の畑の草刈の合間に、隣接する市有地の草刈等をして下さっています。ご協力いただき、ありがとうございます。
学校:	各ゾーン共通 文化祭を9月7・8日に行い、一般市民の方もいらっしゃいました。支援隊の方々に野鳥や昆虫の写真、西部自然公園のご案内を掲示していただきました。公園ですので、一般の方に広く知られて、皆さんが使いたいと思えるような広報活動をしていけたらと思います。また、自然保護や生息状況等をあわせ、教育活動の中でも公園を使うことができたらと、勉強させていただきたいと思っています。
病院:	写真展ですが、毎年やらせていただいていますので、引き続き啓発活動にご協力したいと思っています。

### 3) 各ゾーンのイメージ図について

	(集約方法について)
公園 :	皆さまのご尽力により、全体のイメージ図が形になりました。ご意見、ご感想をいただきたいと思います。意見に対して、お互いに即答できない部分があると思います。本日のご意見は公園緑地課が集約して皆さんに配布し、次の合同会議上で、各団体から意見に対する考え方などを伺いながら議論するという形にします。
	(Aゾーンについての意見)
病院 :	駐車場(病院裏)への進入路は、佐倉西高のグラウンド側から一周回ってアクセスできる方が良いのでは。病院側の交差点は現在でも渋滞が多いため、公園本体の環境に差支えない範囲で渋滞緩和等を図り、合理的な道路配置を考慮願いたい。
ふる :	病院と西高下の道路を拡幅して、西高グラウンド側から出入りできるように。菖蒲田の部分を田んぼの状態にして水をはっておけば、草刈りは畔の部分だけで済む。補助金が来年から無くなることを考えると、今年の緊急雇用で全部田んぼにしておけば、管理費が助かる。山のきれいな湧水もあり、カルガモの親子や、サギ、メダカ、蛙など生物にとっても良い影響があるのでは。また、造成時に泥を道路拡幅に利用すれば、土を他から持ちこまずに済む。 緊急雇用でグラウンドゴルフ場に至る道路の、立木の枝払いをお願いしたい。出来るのであれば、グラウンドゴルフ場への道路舗装も考えてもらいたい。
	(Cゾーンについての意見)
支援 :	今ある立派な柿の木を伐らずに残し、柿の木坂などとして、取入れるのはどうか。
里山 :	花畑に看板があると良い。クレオメの最盛期に散策する方から花の名を聞かれることが多い。表に何でしょう？裏に答えを書くなど、ちょっとしたアイデアを。
	(B・Dゾーンについての意見)
支援 :	重要生物の保全に配慮すべき。個人的には、本当にこれだけの道路が必要なのか、改めて考えてほしい。
支援 :	この公園の目玉はサシバだと思う。里山の生物と、どうやって人間が共生して利用していくかが大きなポイントになると思う。 環境省が10年前に発行した「猛禽類保護の進め方」によってサシバの行動圏(半径350m)を考えると、公園全体がすっぽり入る。区域内に必ず巣がある訳ではなく、営巣箇所もかなり動くため、サシバの巣を守ると、何も利用できなくなるというおそれが。サシバを守るから、手をつけてはいけないというやり方では、公園すらできなくなってしまうが、里山は人びとが住まい、田畑を作って生活してきたもの。それらを保全しながら、なおかつサシバもいたわっていく方法を考えたい。そこで、一番人が出入りする箇所を高度利用区域、その周りを緩衝区域とするなど、ゾーンを決めるのはどうか。イベントなどで時々人がいる区域や時折人が散策するだけの区域など、話し合っ、利用と保全のバランスを。
	(防災拠点としての機能について)
病院 :	災害時の拠点という意味で、できれば病院の近くに初期の患者さんをコントロールしたりする、常時ではないものの、いざという時に救急車やヘリコプターが運用できるような形態で考慮願いたい。例えば、災害場所として想定される箇所については、遊具等が配置されると、いざという場合に使えないなど。

学校：	大規模災害時、水道道路は動かないと考えた方が。避難所として利用する想定であれば、裏側から入れるような経路を。3・11の大震災では柏市の国道6号線が全く動かず、帰宅困難者のための救援物資が到着したのが午後10時であった。 (全般的な進め方)
支援：	各団体の意見はあると思うが、全体の同意というか、全体で議論を深めた方がよいように思う。各団体と公園緑地課とのやり取りだけでは、共通認識や全体像がつかめない。進め方について一考願いたい。各団体は自分のイメージだけを持っている状態のなか、お互いに良い所をとりあって公園をつくっていききたい。

#### 4) 維持管理の状況と今後について

公園：	(緊急雇用について) 緊急雇用の業者2社が決まりました。現在、作業員の募集を行っており、10月から本格的に作業に入る予定です。はじめに谷津田 - 下志津は田んぼの部分、畔田は坊谷津の草刈を行います。その後、竹林整備や斜面林の下草刈りを行います。まずは市有地を中心に広い部分の手入れをします。緊急雇用は昨年度で終了の予定でしたが、震災で失業した方を雇う条件で今年度もあります。今ある予算の中で里山景観の復元を図りたいと考えています。 (今後について)
里山：	市の対応として、どこまで緊急雇用で行ってどこまでボランティアで行うのか、どの範囲まで草を刈るのか、その費用は、等々の部分が全然見えてきません。
公園：	今後は、維持管理が重要な要素となると考えます。来年度も引き続き緊急雇用事業が継続する可能性もありますが、今年度で終了とされていますので、補助金等のあてがないなか、今後、維持管理費の負担がのしかかると。現在、各団体さんに公園内清掃のご協力をいただき、市からは鎌などの消耗品のほか、些少ですが謝礼金をお渡ししています。ただ、西部自然公園は管理面積が広大で、自然のままの地形が多い区域ですので、市街地にある公園の清掃ボランティアに比べて、多くの労力を要します。現在、来年度の維持管理費用の予算を確保できるように要望しています。企業からの助成や、市民から寄付金受入等の検討に加え、極力お金をかけないで維持管理していく方法が課題となっています。
公園：	先日、里山会さんの方から「市の予算がないのであれば、企業などから支援を受けられないか」というご提案とともに、助成金の新聞広告をお持ちいただきました。現在調査中ですが、申し込みは市ではなく、市民の団体であること、飲食などのお茶代の助成はダメ等々、制約が付くものが多いようです。助成については、何とか皆さんのご負担が軽減できるよう、例えば作業の草刈機などの購入代金など、受けられるのであれば、引き続き皆さんのお話を伺いながら、何か適合する助成制度がないか、お話をさせていただきたいと思います。
里山：	今の話を聞いていると、ボランティア前提で話が進んでいるようですが。さきほど、緊急雇用がなくなった後、来年度以降は維持管理のために財政や企画課などに相談すると伺いましたが、今の話はボランティアで私たちが労力を使ったものを申請すれば、という話ですか。

公園：	地元からも人を集めるために維持管理は必要というご意見もあり、現在、皆さんにご協力いただいています。ご質問は、本来分ける所は分けて考えるべき、という趣旨かと思います。市が維持管理できる箇所は市で行いますが、予算の状況もあります。今後、維持管理の予算の状況によって、地元にどのような形で作業をお願いするのか、その都度ご相談させていただきたいと思います。
公園：	いかにお金をかけないで、維持管理をしていくかが課題と考えます。皆さんに現在ご協力いただいている清掃活動やPRなどを通じ、公園の魅力を多くの方に知っていただくこと - 集客なども課題として考えられます。
支援：	千葉県にある大草いきもの里を参考にすると良いのでは。地権者を含め、作業をする人や市と一緒にいって形で維持管理されていると思います。以前から何度か申し上げていますが、市の担当が聞きに行き参考にしたらいかがでしょう。維持管理には人の手がかかりますが、良い方法や知恵があると思います。
公園：	大草いきもの里には、整備基本計画を策定する検討会の時代に、会の皆で視察したことがあります。比較的、緑を守ることが主になっている区域と感じましたが、色々な所を見て、話を伺って、より良い管理の仕方を調査することも大切ですね。

### 5) 今後の進め方について - 新たな会議参加者の可否

公園：	西部自然公園を「まちづくり」にどう活かしていくか、議会で一般質問がありました。市長答弁として、基本理念にある里山を復元し、市民の健康づくりや憩いの場・交流の場、或いは観光の場として、より多くの方々を訪れ、地元の方々と交流できるよう、併せて災害時にも役割を担えるような計画を策定すること、そのためには地元の方々をはじめ多くの方にご協力をいただき、皆で公園を中心とした「まちづくり」につながるよう、合同会議を行うこととしています。 (コーディネーター・コメンテーター・学識経験者などについて)
公園：	合同会議の取り組みについて、地元の方々のご意見を尊重しながら、景観や環境などの専門家をお招きして、限られた時間のなかで身近な憩いの場の計画を効率的に進めていく方策を考えるべき、という話もいただいています。いかがでしょうか。
支援：	各4つのゾーン案が出揃いました。今後は生態学的にどうか等を具体的に詰めていかなければならないと思います。やはり、専門家に入ってもらい、全体の利用計画を立てたいと思います。
支援：	検討会の続きですので、検討会の会長であった原先生はいかがでしょう。豊富な知識に加え、地元や経緯をご存じです。
公園：	決定するのは公園緑地課というよりも、この合同会議上でお話いただくものと考えています。毎回ご参加いただく方法以外に、合同会議で決定した事項のうち必要があれば、基本計画に沿った形かどうかチェックしてもらうという方法もあります。また、東邦大学佐倉病院の院長さんにもご参加いただいていますので、東邦大学さんにご協力を仰いで。原先生には合同会議の第2回目に、里山について講演いただいた経緯があります。
里山：	検討会と合同会議で里山の認識はずれてはいけないので、引き続き原先生にお願いしたいと思います。
ふる：	同じ考えです。
公園：	では、公園緑地課が原先生のもとへお話を伺い、日程調整します。

6) その他

	(土地利用について)
里山 :	公園内に大学誘致の噂があるという話を耳にしました。検討会からゾーンを決めてきたなか、市はどうお考えですか。説明も何もないというのは、いかがなものかと。行政としてどう対応されていくのか伺いたいのですが。
公園 :	一切聞いておりません。整備基本計画に沿って進める方針に変更はありません。
ふる :	全くおかしな話で残念でなりません。今までやってきたのに、力が抜ける思いです。
病院 :	里山や自然に手を付けるというのは、ないと思います。あまり心配なさらずとも。
傍聴 :	議会の一般質問で、市長にこの公園についての考え方や今までの理念を伺いました。
(市議)	市長は理念の通りにやっていくと答弁されましたので、理念に沿っていただけるものと確信しています。3億6千5百万円で公園用地として取得したものの流用は、問題かと思います。総合計画にも西部自然公園として位置付けられています。載っていないものへ使う、ということは、総合計画それ自体の信用にも関わります。
傍聴 :	議会内部でも、そういった説明は受けていません。市長答弁もあり、基本計画の通りと認識しています。自然公園の計画と大学移転の計画はある意味では別かと思
(市議)	います。自然公園には計画があることに加え、個人的には、市民の意志が尊重されると思います。皆さんが懸念されるようなことには、ならないかと考えております。
公園 :	この公園を、力を合わせて理念の通りにつくりあげる、というのがこの場にお集まりいただいた皆さんの共通のご意見だと思います。ご心配はもっともだと思いますが、この会議で公園をつくっていくことは変わりありません。
支援 :	ここに集まっている私たちができることは、市民として公園にしたいという想いをアピールするなどして、妙な噂をはね退ける方法を考えることかと思います。
ふる :	公園予定区域は市街化調整区域ですが、都市計画の網をかける予定はありますか。位置付けを作ってもらえれば、安心して進むことができます。
公園 :	民地に制限を加えてしまうため、都市計画決定ではなく施設が出来てから都市公園法で「公園」の位置付けをする予定です。
	(チップについて)
ふる :	グラウンドゴルフ場に花を植えたいのですが、チップ搬入予定や放射能の関係は？
公園 :	西部自然公園外からのチップを入れる予定は基本的にはありません。市内の公園から集めた枝葉をリサイクルのためチップ化し、搬入した経緯がありますが、ゴミ混入などの問題もありました。大震災以降にチップの放射線を測定したところ、志津地区の公園からの枝葉が多く含まれており、比較的高い数値を示したため、今年度予算で対応したいと思います。
支援 :	篠竹を刈った後、再生させないために厚くまいてありますが、木質ですので、沢山のキノコが出て分解しています。土は確かに肥えましたが、その後には雑草が勢いづいて手の施しようがなく、一時しのぎです。雑草は殆ど繁殖力の強い外来種(セイタカアワダチソウ・アメリカオニアザミ)です。放射線の問題や一時しのぎであること、ゴミが混入したチップがまかれた経緯があることから、できればチップは止めていただきたい。

ふる：	そう思います。公園さんの許可とのことですが、自然公園ですから、あのような形でチップを入れるものではないと思います。
支援：	チップは肥料前提では。購入すれば1袋100円程度、農家の方が争ってお持ちになるとは思いますが、引取り手がないのは品質が宜しくないからではないでしょうか。
公園：	以前は公共機関で有効活用するとともに、市民に肥料として配布していました。現在、放射能の問題もあり、チップの配布を中止しています。基本的には西部自然公園内で発生したものをチップ化して散策路や竹林などに利用し、他所からは持ってこない。確かにチップは豊栄養で、畔田の炭焼場奥にはオニアザミが多く発生しました。周りの畑を耕作している方にご迷惑ですので、野草会の方と公園緑地課が何回か刈りに行っています。
支援：	この場所で伐採した竹を細かく粉にして散策路にしていますが、ゴミもなく柔らかく、良いと思います。他所から変なものを持ってこないで欲しいという願いです。 (通路について)
里山：	イメージ図のCゾーンの桜並木となっている通路について、以前は車で通行できましたが、今は50cmしかなく、散策にも支障があります。地区から道路管理課に本来の道幅となるよう要望しました。公園緑地課からも再度、何とかお願いしたいと思います。
公園：	地元の皆さんが要望書を道路管理者に出していただくように公園緑地課から、お願いした経緯もあります。道路が真ん中にありますが、境界の問題ですので、どうしても地権者のご協力がなければ難しい部分があります。何とか通れるようにしてもらいたいのですが。引き続き、道路管理者に話をしていきます。 (植物の盗掘について)
支援：	植物の盗掘がひどいので、看板やパトロールのための腕章を作ってもらえないでしょうか。
公園：	本日傍聴にいらしている財団法人佐倉緑の基金が野草保護の取り組みをされており、腕章もお作りになっていたかと思います。公園が主体となって腕章等を配布することになりますと、誰に渡すかという問題もあります。まずは支援隊さんの内部でお考えいただいた方がよろしいかと思います。

・次回会議は、調整のうえ、ご連絡いたします。12月・1月頃を想定しています。

・合同会議で、各団体の方が資料を配布や回覧等する場合は、事前に両会長さんの了解を得るため、まずは公園緑地課へご相談いただきたいと思います。よろしく願いいたします。

以上